

社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2001.5.1 ~ 2001.5.31 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻・号)(月 号)
 *印単行書の場合 (発行所) (判・頁)(刊行年月)

理論・一般

0. 総記

二一世紀の社会民主主義像を確立しよう	松本弘也	進歩と改革	587	00.11
特集 労働問題研究の現在 - 1980~2000年(2)		大原社会問題研究所雑誌	501	00.8
賃金(遠藤公嗣)非正規雇用(伍賀一道)社会保障の研究史(高藤 昭)				
人種/エスニシティ,階級,およびジェンダー				
エスター・アンリン・チャウ訳: ホーン川嶋瑤子	ジェンダー研究(お茶の水女子大)	3	00.3	
フェミニズム理論の現在	ホーン川嶋瑤子	ジェンダー研究(お茶の水女子大)	3	00.3
21世紀初頭における情勢の特徴と研究課題	労働総合研究所	労働総研クォーターリー	40	00.秋季
社会政策学会会員研究業績一覧		大原社会問題研究所雑誌	503	00.10
菊池光造教授略歴・著作目録		経済論叢(京都大)	164-4	99.10
*資本論体系 1	服部文男,佐藤金三郎編 富塚良三編集代表	有斐閣	A5.458	00.12
*少子高齢化と現役世代の活性化		野村総合研究所広報部	B6.430	00.12
*NPO非営利セクターの時代	山岡義典,早瀬 昇編 近畿労働金庫監修	ミネルヴァ書房	A5.240	01.1
*国内人権機関の国際比較	NMP研究会,山崎公士編	現代人文社(発売:大学図書)	A5.415	01.1
*素顔のアメリカNPO	須田木綿子	青木書店	B6.230	01.2
*ジェンダー/セクシュアリティ	田崎英明	岩波書店	B6.125	00.9
*セクシュアル・ハラスメントの実態と法理	水谷英夫	信山社出版	A5.490	01.3
*近代社会と売春問題		大阪産業大学産業研究所	A5.197	01.3
*現代の貧困	井上達夫	岩波書店	B6.282	01.3
*性差別と暴力	角田由紀子	有斐閣	B6.224	01.3
*大都市圏における少子化		生活経済政策研究所	A4.159	01.3
*フランスの人権保障	山下健次,中村義孝,北村和生編	法律文化社	A5.278	01.3
*部落問題論への招待	寺木伸明,野口道彦編	解放出版社	A5.241	01.4
*東京都の労働問題研究		東京都立労働研究所	A4.87	01.3
*障害者の人権白書		障害者の人権白書づくり実行委員会事務局	A4.180	98.8
*パートタイマー白書 平成13年	アイデム人と仕事研究所編	アイデム	A4.75	01.3
*日本の研究所要覧 2000		日刊工業新聞社	B5.764	99.11
*東京ウィメンズプラザ所蔵資料目録	東京女性財団東京ウィメンズプラザ図書資料室		A5.235	01.3
*東京大学社会科学研究所所蔵継続資料・雑誌総目録		東京大学社会科学研究所	A4.280	01.3

1. 労働論

「労働の人間化としての職務設計」の基礎	庄村 長	大原社会問題研究所雑誌	502	00.9
---------------------	------	-------------	-----	------

日韓物的工業労働生産性の国際比較作業の拡充 (1992 ~ 1997)

柳田義章 経済科学研究 (広島修道大) 4-1 00.9

平成12年版労働白書分析の視点 (座談会)

今野浩一郎 山路憲夫 小柳勝二郎 司会: 山田亮 労働時報 (労働省) 53-8 00.8

看護労働と医療過誤 嶋森好子 労働の科学 55-9 00.9

* 叢書現代の経済・社会とジェンダー 第2巻 竹中恵美子編 明石書店 A5.284 01.3

2. 労使 (資) 関係論

21世紀日本の労使関係 (講苑) 神代和欣 中央労働時報 972 00.9

* 現代労働組合論 下巻 ルヨ・ブレンターノ著 島崎晴哉, 西岡幸泰訳 日本労働研究機構 A5.483 01.2

3. 労働経済論 (含 賃金論)

二重労働市場と国際労働移動 島田 章 経営と経済 (長崎大) 80-1 00.6

男と女のゲーム 川口 章 経済論叢 (京都大) 164-4 99.10

「賃金論と労働者」分科会 (報告) 報告者: 平地一郎 社会主義 452 00.10

「成果主義」賃金 島田博彦 進歩と改革 587 00.11

景気変動と労働市場 荒山裕行 杉浦立明 調査と資料 (名古屋大) 109 00.3

地域賃金カーブに関する実証分析 坂西明子 奈良県立商科大学研究季報 11-1 00.7

特集 所得格差 日本労働研究雑誌 480 00.7

所得と資産の不平等 (八木 匡) 90年代の所得格差 (大竹文雄) 所得調査の特徴とジニ係数 (梅溪健児)

国際比較からみた日本の所得格差 (太田 清) 日本の所得格差は拡大しているか (橋木俊詔)

賃金制約のもとでの関税と割当による国際収支への効果

田中一芳 流通科学大学論集 経済・経営情報編 9-1 00.7

4. 経営労務論

ホワイトカラーのキャリアパターンに関する基礎研究 砂田栄光 遊間和子 産業教育学研究 28-1 98.1

5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障

市場主義化のなかでの福祉サービスの質の保障と社会福祉法人のあり方 増田雅暢 月刊福祉 83-12 00.10

特集 福祉サービスと「契約」 月刊福祉 83-12 00.10

福祉サービスにおける「契約」の意義 (升田 純)

契約を福祉サービスに活かすためには (座談会) (横山美智子 本田純一 目黒 裕

コーディネーター: 島田和夫) 他

福祉分野の市場化をどう受け止めるか 小谷直道 月刊福祉 83-12 00.10

「契約」制度は福祉援助分野では新しいものだろうか 福山和女 月刊福祉 83-13 00.11

特集 高齢者の健康づくりと介護予防 月刊福祉 83-13 00.11

特集の視点 (吉岡 充) 長命社会から長寿社会へ (前田信雄)

21世紀の高齢者の健康と生きがいづくりを構想する (座談会)

(栗原忠聖 齋藤 清 西山正徳 コーディネーター: 香川正弘)

「措置から契約へ」が意味するもの 菊池馨実 月刊福祉 83-13 00.11

自己選択と共同性 - 20世紀の労働と福祉 長谷川義和 大原社会問題研究所雑誌 503 00.10

高齢者介護と女性の役割 横田朔子 季刊ひととびと 8 00.冬

介護保険下に於ける福祉サービス提供事業と生活協同組合 川口啓子 協同組合研究 19-4 00.夏季

福祉国家研究のジェンダー化の規範論的展開 居神 浩 経済論叢 (京都大) 164-4 99.10

自由社会と社会保障 土井乙平 週刊社会保障 2094 00.7.10

特集 社会保障読本二〇〇〇年版「医療・年金・介護等の現状と将来」 週刊社会保障 2098 00.8.7/14

社会保障の課題と方向 (中村秀一) 社会保障の課題と将来 (藤田伍一)

* 社会保障は民営化すべきか

ヘンリー・アーロン, ジョン・B. シアバーン著 石塚秀雄訳 同時代社 B6.203 00.12

* 社会福祉実践とアドボカシー 西尾祐吾, 清水隆則編著 中央法規出版 A5.306 00.9

* アジアと社会保障 人口問題研究会 A4.140 01.3

6. 産業・労働社会学

国際労働力移動の歴史的位相 宮本謙介 経済学研究 (北海道大) 50-2 00.9

通勤の疲労コストと最適混雑料金の測定	山鹿久木 八田達夫	日本経済研究	41	00.9
7. 労働科学, 人間工学				
コンピュータによる職業適性診断システムの開発	室山晴美	日本労働研究機構研究紀要	19	00.6
事務労働者の上体傾斜角および頭部傾斜角	熊谷信二 車谷典男 瀬尾明彦	労働科学	76-9	00.9
8. 職業教育・訓練論				
キャリアカウンセラーは企業と個人を結び接着剤(インタビュー)				
	小野紘昭 聞き手: 浦 登記	月刊人材ビジネス	162	00.9
現代の高等学校農業機械科の教育課程表の分析	大河内信夫	産業教育学研究	24-1	94.1
公的職業訓練の再編成と技能者養成の現段階	永田萬享	産業教育学研究	24-1	94.1
米国におけるテクニシャン教育の動向と課題	谷口雄治	産業教育学研究	24-1	94.1
生産機械の学習に生産過程の分析を導入した効果に関する研究	土井康作	産業教育学研究	25-2	95.7
アメリカ合衆国における公教育としての職業教育制度構想の形成	横尾恒隆	産業教育学研究	26-1	96.1
在職者訓練の三層構造論と今日的な基本課題の考察	小原哲郎	産業教育学研究	27-1	97.1
保全技能者の能力構造と習熟	森 和夫	産業教育学研究	28-1	98.1
産業教育振興法の成立過程に関する実証的研究	佐藤史人	産業教育学研究	29-1	99.1
マルチメディア技術を企業内教育に導入・活用する際の阻害要因	平田謙次	産業教育学研究	29-1	99.1
特集 各国の職業教育・技術教育		日本産業教育学会研究紀要	4	70.9
西ドイツの技術教育(斎藤健次郎) A B B - 西ドイツの技能訓練教材の実例(元木 健)				
アメリカにおける技能教育の概要(今野喜清) ドイツ民主共和国の教育制度と職業教育(清原道寿) 他				
高卒者に対する技能教育の全国的調査とケース研究(総論)	後藤豊治	日本産業教育学会研究紀要	4	70.9
今後の職業能力開発の在り方を報告	労働省研究会	労働法令通信	53-21	00.7.28

労働問題

10. 総記				
大阪府における介護労働力需給状況	山崎明彦	大阪労働	434	00.盛夏号
職業分類の改訂に関するJSCOとESCOの比較研究(下)	西澤 弘	日本労働研究機構研究紀要	19	00.6
ポスト・シアトルにおける児童労働廃絶の道筋	粕谷信次	労働法律旬報	1485	00.8.上旬
* 東京都就業者数の予測		東京都総務局統計部統計調整課	A4.273	00.3
* ぼくたちはこうして会社を辞めて生きている	中大サイクリング同好会 O B 編	窓社	B6.196	00.8
* 雇用問題の所在と対応	狭田喜義	淡水社	A5.196	01.1
* 北欧労働市場のジェンダー平等と職業分離				
	リチャード・アンカー, ヘリナ・メルカス	女性労働協会	B5.108	01.1
* アジア経済危機と各国の労働・雇用問題		日本労働研究機構	A5.186	01.2
* 企業における勤労者の社会参加活動に対する休暇, 休職制度の内容及び普及状況に関する調査研究報告書				
		勤労者リフレッシュ事業振興財団	A4.219	93.3
* 県民所得と労働分配率の格差に関する調査		連合栃木総合生活研究所	A4.27	96.8
11. 雇用・労働市場				
IT革命と雇用創出および資金格差	大竹文雄	大阪労働	435	00.初秋号
日米IT革命の実情		かけはし	14-9	00.9
若いパワーは企業の生命力		季刊ヒューマン・アド	41	00.Autumn
特集 企業再編と雇用の変化		勤労者福祉	57	00.8
退職給付制度の選択肢の拡大(小柳勝二郎) 企業組織再編の動向と労働者保護法の必要性(熊谷謙一)				
会社分割と労働契約承継法(山川隆一)				
特集 「IT革命」をどうみるか		経済	62	00.11
トヨタのIT経営戦略と労働者(佐々木昭三) アメリカの「IT革命」と雇用・労働問題(夏目啓二)				
兵庫型ワークシェアリング	兵庫県雇用対策三者会議	国際経済労働研究	901	00.7
地域経済と雇用	香川敏幸 伊藤裕一	地域経済研究(広島大)	11	00.3
雇用創出に向け能力開発制度の充実を		樋口美雄 日本経済研究センター会報	853	00.10.1
企業の事業再構築と労働関係	石寄信憲	ばとろなとうきょう	21	00.春季

特集 自治体リストラの新段階 公務労働と自治体労働者の課題を探る 労働運動	431	00.10
どうみる今日の自治体リストラ(田中章史)公務員制度・賃金改悪は何をねらう(松本利寛)		
成績主義賃金と自治体労働者(米沢幸悦)		
特集 大量失業時代の雇用保障 労働運動	429	00.8
追いつめられ困窮する生活(川村雅則)探せども探せども仕事はなし(「仕事と暮らし」調査研究会)		
仕事を求め頑張る失業者ネット(鈴木徹郎)他		
林業労働力確保支援センターの展開状況と当面する諸問題 辻 龍介 小池正雄 労働科学	76-9	00.9
雇用機会創出をめざす「ワークシェアリング」の考え方 中間報告		
社会経済生産性本部ワークシェアリング研究会 労働経済旬報	1655	00.6.上旬
会社分割法制で労働契約はどうなるか 安枝英諄 労務事情	971	00.9.15
12. 労働条件		
Taxi workers' fighting for better working conditions and safe transport under deregulation		
Kazuhiro Kikuchi Rodo-Soken Journal	31	00.7
Truck transport workers fighting for accident prevention Kimi Yamada Rodo-Soken Journal	31	00.7
2000年度予算に見る国公労働者の労働条件 国公労連調査部 国公労調査時報	453	00.9
児童労働撲滅に協力を! 伊藤祐禎 造船重機	135	00.9
労働者の妊娠・出産保護をめぐる新たな議論へ向けて 相澤美智子 東京都立大学法学会雑誌	41-1	00.7
介護労働者の就業実態を把握し、サービスの質を高めよ!!(インタビュー)		
陶山浩三 インタビュアー:薩川隆一 労働レーダー	24-9	00.9
13. 賃金問題		
特集 年俸制の実態 月刊人事労務	140	00.10
(株)博報堂の全員年俸制(佐久浩子)オリンパス光学工業(株)の管理職年俸制(若尾 徹)		
法的にみた年俸制運用のポイント(大塚達生)日本型年俸制のあり方(久保淳志)		
特集 活発化する中途採用者の賃金とミスマッチ 賃金事情	2370	00.9.5
新卒よりも中途、しかも職種別採用へと変化する労働市場(溝上憲文)		
300万人失業が示唆した労働市場の実態(伊藤 実)		
特集 職群別賃金制度の新展開 賃金実務	864	00.9.1
ブロードバンディングに基づいた職群別賃金制度の導入と設計(井田 修)		
職能資格制度をベースにした職群別賃金制度の導入と設計(武内崇夫)職群別賃金制度とは何か(居樹伸雄)		
20世紀の賃金制度・体系の変遷(1) 押尾輝明 ばとろなとうきょう	21	00.春季
20世紀の賃金制度・体系の変遷(2) 押尾輝明 ばとろなとうきょう	22	00.夏季
会社倒産と労働債権確保の実務(1) 森井利和 労働判例	782	00.7.15
*わが国年俸制の現状と展望 社会経済生産性本部生産性研究所	B5.129	96.5
14. 労働時間		
霞ヶ関官庁街の長時間労働の実態 菊池光男 国公労調査時報	452	00.8
異常な超勤縮減は、人間らしい生活確保と命を守る闘い 沢田達哉 農政と公務労働	72	00.7
学校教員の労働と生活(2) 鷲谷 徹 労働科学	76-7	00.7
学校教員の労働と生活(3) 鷲谷 徹 労働科学	76-8	00.8
15. パート・派遣・家内労働		
パートタイム労働者の雇用管理のための考え方の整理について 労働省 月刊経営労務	542	00.7
「非正規雇用」労働者の組織化と権利実現に向けて(講演) 脇田 滋 月刊全労連	44	00.9
派遣労働に対する最近の企業の考え方 渥美由喜 財形福祉	26-8	00.8
「労働者派遣法」について(講演) 若菜允子 中央労働時報	971	00.8
パート労働者の賃金・処遇をどう改善していくか(上)		
労働省女性局女性労働課 賃金と社会保障	1276	00.6月下旬号
労働者派遣法制の研究(三) 大山盛義 東京都立大学法学会雑誌	41-1	00.7
パート労働の職域と労使関係 佐野嘉秀 日本労働研究雑誌	481	00.8
身分による処遇から職務による労働条件決定へ 山田省三 労働法律旬報	1486	00.8.下旬
パートタイム労働者の「均等待遇」 和田 肇 労働法律旬報	1485	00.8.上旬

* 誰も教えてくれなかったおいしい派遣ワークマニュアル	佐藤美由紀	こう書房	B6.223	00.10
* 下町の女性パートタイマー		東京都亀戸労政事務所	A4.101	01.3
16. 女性労働				
女性がいいきと働ける社会をめざす(対談)	高野悦子 赤松良子	Essor	73	99.2
特集 男女共同参画社会と職場づくり 仕事と家庭の両立		IMFJC	260	00.夏
男女共同参画社会へ向かって(富士谷あつ子) 男女共同参画社会基本法について(林陽子)				
男女共同参画社会の実現に向けて	大西珠枝	くらしのレポート	172	00.7
地域の福祉文化におけるボランティアと女性雇用者の接点	生活文化研究所	国際経済労働研究	903	00.9
仕事と子育てや介護との両立の負担を少なくし若い人が希望を持てるようにしたい	熊谷毅	財形福祉	26-7	00.7
雇用均等室は順調な滑り出し 省庁再編でこれからが大変です	山本典子	財形福祉	26-9	00.9
Women at work in the borderlands of a global economy	Amaryllis T.Torres	ジェンダー研究(お茶の水女子大)	3	00.3
特集 21世紀・男女共同参画基本計画の策定へむけて		女性と労働21	33	00.7
男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的な方向に関する論点整理(男女共同参画審議会基本問題部会)				
女性に対する暴力に関する基本的方策について(中間取りまとめ)(男女共同参画審議会女性に対する暴力部会)他				
今だから、女性の働く権利と社会保障の充実にしっかりと目をむけて	駒田富枝	所報(愛知労働問題研究所)	82	00.7
看護職の職業イメージ	塩森継紀 林理	帝京経済学研究	33-2	00.3
女性の深夜労働	橋本佳子	労働運動	429	00.8
改正均等法における調停制度の問題点	大森夏織	労働法律旬報	1484	00.7.下旬
* 女性労働ガイドブック 平成12年度		東京都労働経済局	A5.39	01.3
* 多摩地域における働く女性の意識調査		東京都立川労政事務所	A4.74	01.3
* わが国における働く女性の出産・育児環境の整理		三和総合研究所	A4.55	92.3
17. 中高年労働				
中高年労働者の失業と再就職	上野隆幸	生活経済政策	460	00.9
特集 人生80年代時代を生きる		JIL@Work	3	00.Autumn
高齢化と雇用問題(宮崎利行) 高齢者雇用の基本戦略(伊藤実)				
職場における高年齢者の活用等に関する実態調査の結果概要について(日本労働研究機構計量情報部)他				
特集 中高年雇用問題の意識と構造		エルダー	22-8	00.8
六〇歳代前半の雇用継続に対する従業員の考え方(藤村博之)				
職場における高年齢者の活用等に関する実態調査(日本労働研究機構) 出向・転籍の実態と展望(伊藤実)				
特集 産業別にみる高齢者雇用の課題		エルダー	22-9	00.9
金属プレス加工業高齢者雇用推進懇談会報告書(日本金属プレス工業協会)				
トラック運送事業高齢者雇用推進懇談会報告書(トラック運送事業)他				
諸外国の高齢化問題への取り組みについて	三谷直紀	関西経協	54-7	00.7
高齢雇用と所得保障をめぐる政策課題	板東慧	国際経済労働研究	902	00.8
65歳現役の実現に向けた能力開発のあり方	藤村博之	国際産研	18/19	00.6
定年の引き上げや継続雇用などで65歳まで働ける仕組みづくりが必要	田中誠二	財形福祉	26-7	00.7
連合を中心とした体制づくりで高齢者の働く意欲に応えたい				
全国シルバー人材センター事業協会		財形福祉	26-9	00.9
60歳以降の継続雇用の条件を探る(座談会)				
須田勝也 内田勝久 島田尚信 コーディネーター: 藤村博之		賃金事情	2369	00.8.5/20
経営側としては、65歳への定年延長の「法制化」は容認できない 労使自治で対処すべき	小柳勝二郎	賃金事情	2369	00.8.5/20
高齢者の就業決定における健康要因の影響	大石亜希子	日本労働研究雑誌	481	00.8
高齢者の雇用と公的年金をめぐる課題	西田哲也	労働かながわ	583	00.10

キャノン「生涯現役」思考による再雇用・高齢者活用の実績と制度設計

	山崎啓二郎	労働法学研究会報	2204	00.7.10
* 新しい高齢者雇用市場拡大に関する研究と提言		統計研究会	A4.195	00.1
18. 障害者労働				
12年度も順調なスタート	藤ヶ谷明子	財形福祉	26-7	00.7
特集 新たな職業の可能性		ノーマライゼーション	20-9	00.9
働くことの意味と実現(工藤 正) 夢の実現! 職業の可能性を探る(座談会)(栗林 茂 関 宏之 高林 昭子 前野哲哉)				
地域に根ざし、顔の見えるサービスを(菅 洋一) 紀南障害者雇用支援センターの取り組み(北山守典)				
19. 外国人労働				
The Japanese government's response to migrant workers in the 80s & 90s				
	Christian J.A.Lister	広島修大論集	人文編41-1	00.9
日本における外国人労働者の組織化(上)	小川浩一	労働法律旬報	1481	00.6.上旬
* グローバル時代の外国人労働者	桑原靖夫編	東洋経済新報社	A5.290	01.2
20. 技術革新				
* IT先進国アイルランド報告と情報産業人材の本土企業派遣の効果		雇用開発推進機構	A4.63	01.3
21. 労災、職業病、健康問題				
労働安全衛生をめぐる状況		安全センター情報	267	00.8
特集 労働安全衛生の国際潮流		安全センター情報	268	00.9
産業保健活動の新たな潮流(小木和孝) 労働科学と法の関連性(三柴文典)				
あなたの職場は大丈夫?(特集)		月刊いのちと健康	405	00.7
原発の被曝労働者「健康被害から見た原発」	村田三郎	月刊むすぶ	357	00.9
特集 過労ストレスから生命を守る		月刊労働組合	413	00.7
過労自殺と企業の責任(川人 博) サラリーマンの自殺(高橋祥友)「心の健康相談センター」(内田勝久) 労働者の安全と健康(古谷杉郎)				
民間企業182社対象 本誌第31回調査(上)	2000年法定外の労災補償・通勤災害給付	労務研究所 旬刊福利厚生	1701	00.7.8
民間企業182社対象 本誌第31回調査(下)	2000年法定外の労災補償・通勤災害給付	労務研究所 旬刊福利厚生	1702	00.7.18
過労自殺と企業の管理責任をめぐる	安西 愈	ばとろなとうきょう	22	00.夏季
特集 労働安全衛生マネジメントシステムのこれから		労働の科学	55-8	00.8
労働安全衛生マネジメントシステムをめぐる最近の国際動向と背景(下川 強)				
「建設業労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン」について(大鈴克二)				
* 労災防止活動推進ハンドブック 改訂	日本労働組合総連合会監修	労働調査会	B5.223	00.2
* 激増する過労自殺 ストレス疾患労災研究会	過労死弁護団全国連絡会議編	皓星社	B6.340	00.9
* 産業保健活動の国際比較	労働問題リサーチセンター	国際産業保健研究会	A4.90	01.2
22. 労働者意識				
* 自動車総連ゆとり創造アンケート自由意見集	全日本自動車産業労働組合総連合会		A4.78	92.2
* 自動車総連ゆとり創造アンケート分析結果	全日本自動車産業労働組合総連合会		A4.67	92.2
* 組合員および組合役員アンケート調査集計結果報告書		連合長野・連合長野総研	A4.123	93.10

労働運動

30. 総記				
新時代の個別的労使関係と紛争処理	野瀬正治	大阪労働	434	00.盛夏号
増大する個別的労使紛争とその解決の重要性	鳴海洽一郎	進歩と改革	587	00.11
大義の旗 - 日立争議全面解決報告	塩沢正夫	前衛	731	00.11
31. 労働組合・運動論				
労働組合から見た民事再生法	熊谷謙一	改革者	483	00.10
マルクス主義と日本労働運動(7)	川副詔三	季刊ひとびと	7	99.秋

マルクス主義と日本労働運動(8)	川副詔三	季刊ひとびと	9	00.春
マルクス主義と日本労働運動(9)	川副詔三	季刊ひとびと	10	00.夏
リストラの中で問われる労働組合	東 健治	季刊ひとびと	8	00.冬
切り捨てを許さない国鉄労働者の闘い	江藤正修	技術と人間	29-7	00.8/9
「何のためか」を考えよう	師岡武男	月刊国際労働運動	345	00.7
管理職ユニオンの可能性と現状	四方孝史	月刊先駆	738	00.7
特定独立行政法人と労働組合	深谷信夫	国公労調査時報	452	00.8
なぜ労働組合が必要なのか(講演)	北川鑑一	進路	349	00.9
労働組合の代表権能をめぐる課題	大和田敢太	彦根論叢(滋賀大)	326	00.8
日本的雇用慣行の変容と労働組合機能	井上雅雄	立教経済学研究	54-1	00.7
組合活動における情報化の進展と課題	小島輝信 田口芳朗 高橋孝行 大園 学 小村美紀子	労働調査	377	00.7
これでいいのか、労働組合?	藤村博之	労働調査	378	00.8
特集 ユニオンリーダーをめぐる諸問題		労働調査	378	00.8
組合活動の活性化とユニオンリーダーの育成(田中奉夫)				
21世紀に向けたユニオンリーダーの登用と育成(佐野忠徳)他				
21世紀に向けての魅力ある労働組合の再構築を考えるシリーズ	中村正次	労働リーダー	24-7	00.7
21世紀に向けての魅力ある労働組合の再構築を考えるシリーズ	中村正次	労働リーダー	24-9	00.9
32. ナショナルセンター				
産別労組での「春闘改革」議論を促した連合中央委員会	善明建一	社会主義	450	00.8
連合の「女性参加推進計画」はどこまで進んでいるか	師岡愛美	労働経済旬報	1653	00.5.上旬
* 連合規約		日本労働組合総連合会	A4.59	97.8
34. 単産, 単組				
99年度日建協活動総括	日建協	COMPASS	735	00.7
船員が二度と戦火の海を航かないために	秦 一生	海員	52-9	00.9
国労臨時大会, 紛糾し休会へ(報告)	大谷常夫	科学的社会主義	28	00.8
「2年連続マイナス, 『能力・実績主義』賃金の強化」の2000年人動は許さない	吉良多喜夫	季刊自治労連	84	00.秋季
執行部総辞職へ 国労統開大会	中野隆宣	月刊国際労働運動	347	00.10
大義を捨てた国労執行部 - 休会となった臨時大会	中野隆宣	月刊国際労働運動	346	00.8/9
日本造船業の現状と全造船機械の取り組み	大河内俊雄	月刊社会民主	544	00.9
国労第66回臨時大会「四党合意」をめぐる白熱の討論		国労文化	465	00.10
新たな闘いの前進にむけて決起を	自交総連	自交労働者月報	286	00.8
J R 不採用問題四党合意, 採決持ち越し休会	柏井一郎	社会主義	450	00.8
二一世紀, J R 労働運動の展望(一)	伏見恵司	進歩と改革	587	00.11
職場の中から見た全開発の組織運動(座談会)				
参加者: 橋本新治 立山雅美 斉藤延哉 斉藤修一 座長: 渡辺克也 記録: 安達佳和 カメラマン: 野田坂由起夫		全開発	419	00.7
産業別組織の統合について	C S G 連合 ゼンセン同盟	ゼンセンコンパス	50-9	00.9
ゼンセン同盟21世紀ビジョン中間報告	ゼンセン同盟	ゼンセンコンパス	50-9	00.9
いまと明日を担う仲間語る 新たな半世紀を胸をはって歩んでいこう(パネルディスカッション)(上)				
パネラー: 上條貞夫 大田 決 牧野光延 押尾直志 金山幸晴 司会: 吉田有秀		損保調査時報	344	00.7
いまと明日を担う仲間語る 新たな半世紀を胸をはって歩んでいこう(パネルディスカッション)(中)				
パネラー: 上條貞夫 大田 決 牧野光延 押尾直志 金山幸晴 司会: 吉田有秀		損保調査時報	345	00.8
J R 労働者の総結集に向けて	葛野和明 眞壁善廣 古川吉男	司会: 高島喜信 てるみに	14	00.8
7. 1 国労臨時大会が「休会」		連帯	172	00.7

組合原則に基づいた運動の自立化へ新たな全国政治闘争への可能性を踏み出した国鉄闘争の意義

	小野寺忠昭	労働情報	555	00.7.15
「四党合意」から社民党が手を引くための運動形成を	石田精一	労働情報	556	00.8.1
負けない運動から勝つ闘いへ	石田精一	労働情報	559	00.9.15
画餅に終わらないために	みなづききさんた	労働レーダー	24-9	00.9
35. 団体交渉, 労働協約				
雇用確保・弾力化を軸とした現代的「合理化」の協約	宮前忠夫	労働法律旬報	1485	00.8.上旬
36. 賃金闘争(含 生活改善闘争)				
平成12年の春闘をふりかえって	大阪府商工労働部労政福祉課	大阪労働	434	00.盛夏号
中小企業労働者の二〇〇〇年春闘	松井保彦	月刊国際労働運動	345	00.7
労働組合の賃金政策(39)	労働大学調査研究所	月刊労働組合	413	00.7
法的責任なしを認めてよいか	川副詔三	地域と労働運動	準備2	00.6
二〇〇〇年春闘結果とこれからの労働運動	川副詔三	地域と労働運動	1	00.7
二〇〇〇年春闘をふりかえって	野口剛敏	農政と公務労働	72	00.7
異変続出の2000春闘	江上寿美雄	労働かながわ	581	00.7/8
春闘総括から春闘改革へ	労働経済旬報編集部	労働経済旬報	1654	00.5.下旬
「JR東日本の民主化は必ずなしとげる 国労は最後の決断を!!」(インタビュー)	葛野和明 インタビュアー: 薩川隆一	労働レーダー	24-7	00.7
* 「成果・能力主義」拡大への労働組合の対応		東京都大崎労政事務所	A4.156	01.3
38. 合理化・雇用対策				
「何も失うものを持たない自分は全力での是正を決意」(「申し入れ」より)				
	川名法男	季刊ひとびと	7	99.秋
揺らぐ争議解決後の社会保険の取扱(1)	石原 均	季刊ひとびと	7	99.秋
揺らぐ争議解決後の社会保険の取扱(2)	石原 均	季刊ひとびと	8	00.冬
団交でデタラメな労務管理・経理の実態を明らかにする	川名法男	季刊ひとびと	8	00.冬
涙と怒りが会場を包む	川名法男	季刊ひとびと	9	00.春
新入社員もびっくり! 右翼の街宣車も登場したディック電子入社式	川名法男	季刊ひとびと	10	00.夏
法制化に先駆け六五歳現役社会を実現させた電機産業の意義は大きい	内田勝久	てるみに	14	00.8
* 雇用・就業形態の多様化と労働組合, 労働者組織		東京都立労働研究所	A4.199	01.3
39. 権利闘争				
闘いを全面的に強めよう!	川副詔三	季刊ひとびと	7	99.秋
ILO中間勧告の意味するもの	川副詔三	季刊ひとびと	8	00.冬
解決問題で正念場迎えた国鉄闘争	川副詔三	季刊ひとびと	9	00.春
帝国臓器・単身赴任裁判をたたかって	川口晴男 川口久子	季刊ひとびと	9	00.春
「殖産・荘内」合併白紙撤回運動の総括	殖産銀行従業員組合	銀行労働調査時報	606	00.6
「JRに法的責任なし」承認に, なぜそこまでこだわるのか	川副詔三	地域と労働運動	3	00.9
教育訓練経験と中高年期の職業的自律性	本田由紀	日本労働研究機構研究紀要	19	00.6
国鉄闘争の混迷と苦悩	伊藤晴信	労働運動研究	370	00.8
採用差別撤回と安全性の結合を	立山 学	労働情報	557/558	00.8.15
40. 政策制度闘争				
労働契約承継法は労働者保護法制の具体的整備の出発点	熊谷謙一	てるみに	14	00.8
* 栃木県における交通ネットワーク整備に関する調査研究		連合栃木総合生活研究所	A4.22	96.5
41. 教育文化宣伝活動				
アメリカの組織拡大運動と労働者教育	アンディ・バンク	オルガナイザーネットワーク	29	00.5
42. 労働者福祉運動				
労働者協同組合の理想と現実(1)	塚本一郎	季刊ひとびと	8	00.冬
労働者協同組合の理想と現実(2)	塚本一郎	季刊ひとびと	9	00.春
労働者協同組合の理想と現実(3)	塚本一郎	季刊ひとびと	10	00.夏
大分のケアワークタクシーと地域おこしを訪ねる旅	手島繁一	協同の発見	99	00.8

特集 協同労働と21世紀の協同 協同労働の理論と思想を深めよう	協同の発見	99	00.8
社会的経済の広がり現代の意義(富沢賢治)イタリア非営利・協同組織が担う新たな社会関係の課題(田中夏子)			
介護保険の時代に本物の介護・福祉の拠点を(田中羊子)『レイドロー報告』から20年(中川雄一郎)			
高齢社会に求められる市民と行政の協同	坂田道夫 協同の発見	99	00.8
『良い仕事』【good work】論をめぐる	杉村芳美 聞き手:宮崎 徹 社会運動	245	00.8
* 生協への提言	野村秀和編著 桜井書店	B6.209	01.2
43. 労働組合と政治			
* 日本の進路	日本労働組合総連合会	A4.18	93.
44. 労働組合と社会問題, 社会運動			
社会保障運動の歴史と未来(座談会)			
坂内三夫 古賀菜穂子 公文昭夫 コーディネーター: 鍋谷州春	社会保障	371	00.夏
経営労務			
50. 総記			
会社分割法制に関する見解及び留意事項	日本労働弁護団	銀行労働調査時報	606 00.6
* 現代日本企業の人事戦略	澤野雅彦	千倉書房	A5.212 01.2
51. 人事・労務管理			
企業の構造変化と新たな雇用管理(対談)	花田光世 太田芳枝	Essor	79 00.2
企業の人材活用と個人の働き方の調和を目指して(座談会)			
阿部正浩 北浦正行 樋口美雄 司会: 村木厚子	Essor	80	00.4
電機企業の技術者の職務と人事管理	市原 博	大原社会問題研究所雑誌	502 00.9
特集 営業社員の能力をこう高める		企業と人材	751 00.7.20
提案型営業研修プログラムの作成と効果的实践法(島田義也)			
“営業環境激変時代”の営業社員の能力育成(住友光男)			
業績考課給・業績管理の展開とイギリス人的資源管理	上田眞士	経済論叢(京都大)	164-4 99.10
アメリカの賃金制度と評価制度(12)	笹島芳雄	月刊人事労務	139 00.9
特集 複線型雇用管理の現状と課題		月刊人事労務	139 00.9
(株)電通国際情報サービスの複線型雇用管理の実態(松井紀史)			
複線型雇用管理の運用上の法的留意点(岩本充史)これからの複線型人事制度(久保淳志)			
能力概念の再編成と新人事評価システム()	大泊 剛	産業教育学研究	25-2 95.7
能力概念の再編成と新人事評価システム()	大泊 剛	産業教育学研究	26-1 96.1
国際化時代を乗り切る目標管理型人事制度(1~9)	森 英一	旬刊労働実務 1289-1311	00.1.21-9.21
東海銀行の向向・転籍(解雇)その実態	伊藤欽次	所報(愛知労働問題研究所)	82 00.7
コンピテンシーによる人事管理 入門篇	太田隆次	日労研資料	1239 00.7
「ストック」「フロー」組み合わせ効率化を	北浦正行	日本経済研究センター会報	852 00.9.15
フランス自動車産業における雇用の弾力化	荒井壽夫	彦根論叢(滋賀大)	325 00.6
Comparative studies of the labour management in Japan and Korea	Yoon Sook-Hyun	福井県立大学論集	17 00.7
国際人的資源管理の日米欧企業間比較	白木三秀	労使の焦点	221 00.7
住友商事「SC VALUES」評価制度	三浦一朗	労働法学研究会報	2208 00.8.20
経営革新のための人事・労務のアウトソーシング	大野 実	労働法学研究会報	2209 00.9.1
現代版“座敷牢”の実態(2)	青藤真行 宮崎周吉 伊藤建夫	労働法律旬報	1484 00.7.下旬
労働者の働き方意識に関する若干の考察	神村俊一	労務研究	626 00.8
52. 賃金管理			
ドイツ化学企業C社の報酬システム	久本憲夫	経済論叢(京都大)	164-4 99.10
役員報酬の実態	大崎鋭侍 政経研究所 賃金管理研究所	賃金事情	2368 00.7.20
成果給の矛盾(下)	吉村宗夫	賃金と社会保障	1276 00.6月下旬号
* 賃金管理データブック 2001 労働調査会編賃金管理研究所監修		労働調査会	A4.285 01.1

54. 定年制, 退職金, 企業年金			
特集	岐路に立つ企業年金・退職金 企業経営の視点から考える	月刊	keidanren48-9 00.9
	企業年金をどう変えるか(座談会)(福原義春 安崎 暁 安川英昭 宗岡広太郎 司会:中村芳夫)		
	多様な選択が可能な企業年金制度の構築を求める(福澤 武)他		
特集	退職金・年金改革 事例&データ2000	賃金実務	862 00.7.15
	確定拠出年金導入にそなえる(1)(栗原 健) 公的年金制度改正の概要と将来の家計に及ぼす影響(渥美由喜)		
特集	退職金・企業年金の研究	労働運動	430 00.9
	新たな労働者支配と退職給付改悪(犬飼 憲) 退職金制度解体・縮小の新たな攻撃(金田 豊)		
	終身雇用制崩す退職給付会計(山口 孝) 改悪の具体化に警戒と対応を(庄司博一)		
	中高年活性化対策と雇用延長の法律問題	中町 誠 労働経済判例速報	51-22 00.8.20/30
	定年延長, 再雇用の法的問題点	中町 誠 労働法学研究会報	2210 00.9.10
	「中退共制度」の活用と運用方法	杉浦恵美 労務事情	968 00.7.15
55. 福利厚生			
	「変革期の企業福利厚生」に寄せて(1~6)	岡田義晴 旬刊福利厚生	1693-1708 00.4.18-9.18
	カフェテリアプランの導入で福利厚生制度の再構築へ	日立製作所 旬刊福利厚生	1702 00.7.18
	諸外国の休暇制度と日本(下)	野田 進 世界の労働	50-7 00.7
56. 教育・訓練			
	知的熟練論の実証的根拠	野村正實 大原社会問題研究所雑誌	503 00.10
特集	米国企業にみるコンピテンシーの多面的活用	企業と人材	755 00.10.5
	多様な手段を駆使して能力の高い人材を採用する(酒井正敬)		
	採用, 人事考課にコンピテンシーを活用して人材を育成・定着(成田秀明)他		
	IT(情報技術)社会と“モノづくり”の教育・伝承	森 清 企業と人材	753 00.9.5
	社会的に通用する能力を高める方法	藤村博之 勤労よこはま	431 00.7/8
	高度経済成長を支えた養成工の意識とキャリア	上野隆幸 産業教育学研究	30-1 00.1
	リストラクチャリング下の鉄鋼労働の変化と企業内教育	永田萬享 産業教育学研究	25-2 95.7
	職場ニーズに応えるT W I 指導体制の確立を目指して	伊東廣巳 杉本君雄 産業訓練	538 00.7
	企業内訓練と外部労働市場	新豊直輝 日本労働研究雑誌	481 00.8

労働政策

60. 総記			
特集	地方労働局	財形福祉	26-7 00.7
	福岡労働局の労働行政の課題(新島良夫)		
	総合的な労働行政の展開に向けて都道府県労働局がスタート(高橋 満 大河原宏是)他		
	二一世紀の国際労働行政(座談会)		
	ウィリアム・クラタノフ モニカ・ゾンマー ジェイムス・バクスター	プラグニ・スクリ 司会:恒川謙司	
		労働時報(労働省)	53-7 00.7
	*日本の労働政策 平成13年度版	労働省編 労働調査会	A5.273 00.12
61. 雇用政策			
	許せぬ雇用保険の改悪 雇用創出の大運動を	林 正道 月刊生活と健康	831 00.8
62. 賃金政策			
特集	2000年人事院勧告 2000年人勤はこう読む	国公労調査時報	454 00.10
	調整手当改悪反対闘争をふりかえって(座談会)(山瀬徳行 今 武 伊藤英敏 門田敏彦 司会:福田昭生)		
	賃金闘争における公務員賃金の位置付け(金田 豊)		
	2000年人事院勧告と公務員の人事管理のあり方を探る		
	溝上憲文 菊地敦子 西尾宣昭 田代 空	賃金事情	2371 00.9.20
	二〇〇〇年人事院勧告と俸給体系見直しについて	早川征一郎 賃金と社会保障	1282 00.9月下旬号
	全国一律最賃制確立と現行最賃	筒井晴彦 労働運動	430 00.9

64. 職業教育・訓練政策			
特集	ものづくりの復権へ 危機感を官民共有、視点は多彩(労経ファイル編集部)ものづくりと職業能力開発行政について(小玉 剛)	労経ファイル	296 00.8.1/15
65. 社会保障, 社会福祉			
特集	新世紀の社会福祉 新時代のなかでの福祉サービス利用意識の変化(インタビュー)(村田幸子) 福祉サービス利用者意識の変革は“消費者教育”から(尾崎 雄)	月刊福祉	83-10 00.8
特集	生活保護制度の新しい展望 生活保護法施行50周年を迎えて これからの生活保護制度を展望する(鼎談) 菊池馨実 宇野裕 八代尚宏)生活保護と福祉事務所(岡部 卓) 低所得者に対する民間活動の特徴と課題(インタビュー)(大山 博)	月刊福祉	83-10 00.8
特集	新世紀の社会福祉 2 地域が施設を創り、施設が地域を創る(井出意作) 「生きててよかった」を創る、生きる意味を発見する(西尾孝司)	月刊福祉	83-11 00.9
介護保険実施後の現状と課題(シンポジウム)			
	暉峻淑子 村田幸子 市川禮子 愛場たみ子 司会:石川 満 医療生協運動		396 00.8
特集	大分県にみる高齢化社会と福祉政策 少子高齢社会へ対応する福祉施策(四ツ谷年晴)大分県町村における福祉政策と財政(新田 進)	大分大学経済研究所研究所報	34 00.7
介護保険で何が変わったのか何を变えたいのか	斎藤芳雄	介護保険情報	1-5 00.8
特集	介護保険施行半年と社会保障構造改革 介護保険と社会保障構造改革(前田純一)社会保障構造改革-年金改「正」と介護保険の共通性(川本 哲) 検証-介護サービスの量と質はどうなっているか(清水英宏)介護保険と自治体(長南博邦)他	科学的社会主義	30 00.10
特集	確定拠出型年金について 米国における401(k)プランの最近の動向について(木下俊男) 確定拠出型年金法案にみる資産運用と受託者責任(橋本基美)確定拠出型年金と企業経営(若杉敬明)他	季刊年金と雇用	19-2 00.8
介護の社会化にはほど遠い介護保険	横田朔子	季刊ひとびと	7 99.秋
走りながら考える自治体現場	横田朔子	季刊ひとびと	9 00.春
新「成年後見制度」は痴呆性高齢者の人間としての尊厳を守れるか	横田朔子	季刊ひとびと	10 00.夏
介護保険施行後の諸問題と今後の取り組み課題	森 俊介	勤労者福祉情報	543 00.6
特集	これからの年金制度 1 年金制度改正 日本版401kプラン「確定拠出年金」の導入の背景と概要(宮崎幸博)年金制度改正の概要(海田正夫)	勤労よこはま	432 00.9
特集	これからの年金制度 2 年金制度をめぐって 男女共生社会に向けて 私の提言(山崎久民)年金改革の論点と課題(山崎泰彦)	勤労よこはま	433 00.10
老人医療費の動向について	船橋恒裕	経済学論叢(同志社大)	52-1 00.9
日本の「財政調整」型社会保障	玉井金五	経済論叢(京都大)	164-4 99.10
公的年金制度の改正	秤屋昭久	月刊経営労務	542 00.7
特集	「介護保険法」実施直後の現場から 介護保険は特別養護老人ホームをどう変えたか(聞間 元)介護保険審査会から見た問題点(今高國夫)	月刊保団連	668 00.7
医療保険改革の方向	藤田伍一	健康保険	54-7 00.7
介護保険制度の現段階	田中きよむ	高知論叢 社会科学	68 00.7
公的年金問題をめぐって	跡田直澄	国際産研	18/19 00.6
公的年金の改正と課題	藤田伍一	財形福祉	26-9 00.9
「労働福祉」という言葉とその周辺	園田洋一	財形福祉	26-9 00.9
ホームレスの保健医療対策を急げ	金田治也	社会保険旬報	2067 00.7.11
「この国のかたち」としての介護保険	菅沼 隆	週刊社会保障	2095 00.7.17
新段階を迎えた介護保険	井下田猛	週刊社会保障	2100 00.8.28
社会保障と環境政策	広井良典	週刊社会保障	2102 00.9.11
働き方の多様化に対する社会保険の在り方	八代尚宏	週刊社会保障	2101 00.9.4
特集	実施5ヵ月で見えてきた介護保険の実態 介護保険改善運動が切り開く福祉の新たな展開(木山紀一)	前衛	729 00.10

施設でも在宅でも機能しない介護ビジネス（インタビュー）（矢嶋 嶺）他				
介護保険とホームヘルプ労働についての考察	佐藤卓利	賃金と社会保障	1281	00.9月上旬号
老人介護は保険になじむか	岸田孝史	賃金と社会保障	1281	00.9月上旬号
特集 どうする介護保険		民医連医療	337	00.9
介護保険最前線（座談会）（相野谷安孝 園田久子 東原加代子 山平久雄）				
介護保険をよくする大運動のとりくみ（萩原 渺）他				
当面する社会保障改革と年金制度の課題（報告）	高山憲之	連合総研レポートD I O	143	00.10
介護保険制度の課題	池田省三	連合総研レポートD I O	141	00.7/8
確定拠出年金（日本版401（k））の利用可能性と限界	和泉信俊	労働法学研究会報	2206	00.8.1
* 公的介護保険制度と地域社会		法政大学多摩シンポジウム実行委員会	A4.62	01.3
* 介護保険論集	池田省三編	地方自治総合研究所	A4.162	96.
66. 労働法				
「商法改正案」と「労働者保護法」	西野黎子	季刊ひとびと	9	00.春
労働契約承継法と社会保険労務士の役割	金網久夫	月刊社会保険労務士	36-10	00.8
雇用差別禁止法理に関する一考察	蛭原典子	立命館法学	269	00.6
経済社会の変化に伴う労働関係法制の諸問題（1）	野川 忍	労使の焦点	222	00.9
会社分割法制と労働契約承継法	安枝英紳	労働経済局月報	00-8	00.8
独立行政法人における労働法上の諸問題	清水 敏	労働法律旬報	1484	00.7.下旬
雇用保険法改正と今後の課題	金子雅臣	労働法律旬報	1485	00.8.上旬
* 台湾における労働法と社会保障制度の概要		交流協会	A5.42	00.3
* 社会保障法	小西國友	有斐閣	A5.407	01.3
67. 労働判例				
最新労災判例の詳細	保原喜志夫	月刊ろうさい	51-7	00.7
最近の労働判例について（下）（講苑）	野田 進	中央労働時報	970	00.7
業務能力、勤務成績不良を理由とする解雇が有効とされた例				
	東京地方裁判所	労働経済判例速報	51-21	00.8.10
現金着服行為を理由とする懲戒解雇が有効とされた例	東京地方裁判所	労働経済判例速報	51-23	00.9.10
配転命令は合理性、業務上の必要性があり有効とされた例				
	東京地方裁判所	労働経済判例速報	51-23	00.9.10
研修中の年次有給休暇取得と時季変更権の行使	山崎文夫	労働判例	784	00.9.1
勤務変更は具体的条項が必要	鴨田哲郎	労働法学研究会報	2205	00.7.20
平成十一年労働判例の回顧と展望	山本吉人 山本圭子	労働法学研究会報	2207	00.8.10
企業の「セクシュアル・ハラスメント防止義務」	水谷英夫	労働法律旬報	1481	00.6.上旬
セクシュアル・ハラスメントと誘惑の限界	山崎文夫	労働法律旬報	1481	00.6.上旬
能力成果型賃金体系移行にともなう中高年の賃金切下げの合理性判断				
	梅田章二 鎌田幸夫 城塚健之 河野 豊	労働法律旬報	1481	00.6.上旬
変形制下の勤務変更の可否について、初判断	鴨田哲郎	労働法律旬報	1484	00.7.下旬
労働協約による一部組合員の賃金条件の不利益変更	原 俊之	労働法律旬報	1484	00.7.下旬
組合保障条項における「組合員」という文言の使用と公正代表義務				
	中窪裕也	労働法律旬報	1485	00.8.上旬
労働協約等を通じた労働条件不利益変更とその限界	名古屋功	労働法律旬報	1485	00.8.上旬
労働者による使用者批判の自由	城塚健之	労働法律旬報	1485	00.8.上旬
ケンウッド事件・最高裁第三小法廷判決（平一ニ・一・二八）批判				
	斉藤 誠 松井繁明 今野久子	労働法律旬報	1486	00.8.下旬
国立大学における外国人教師の期限付雇用契約の法的性質と更新拒否（雇止め）の有効性				
	李 鋌	労働法律旬報	1486	00.8.下旬
68. 労働委員会				
国営企業平成一二年度新賃金紛争事件調停・仲裁の経過概要		中央労働時報	971	00.8
労働委員会による労働争議の調整	安枝英紳	同志社法学	272	00.7

* 愛媛県地方労働委員会年報	平成12年	愛媛県地方労働委員会事務局	A4.171	01.3
* 沖縄県地方労働委員会年報	平成12年版	沖縄県地方労働委員会事務局	A4.97	01.3
* 香川県地方労働委員会年報	平成12年	香川県地方労働委員会	A4.41	01.3
* 滋賀県地方労働委員会年報	平成12年版	滋賀県地方労働委員会事務局	A5.104	01.3
* 島根県地方労働委員会年報	平成12年版	島根県地方労働委員会事務局	A5.104	01.3
* 都労委年報	平成12年	東京都地方労働委員会事務局	A5.515	01.3
* 新潟県地方労働委員会年報	平成12年版	新潟県地方労働委員会事務局	A5.111	01.3
* 三重県地方労働委員会年誌	平成12年版	三重県地方労働委員会	A5.104	01.3
* 山形県地方労働委員会年報	平成12年	山形県地方労働委員会事務局	A4.53	01.3

世界労働

71. アジア				
ソニーエレクトロニクス・インドネシアでストライキ続く	東 健治	季刊ひとびと	10	00.夏
ケララ・ディネッシュ・ピーディ				
ヤシャヴァンタ・ドングレ	スレシュラマナ・マヤー	翻訳：菅野正純 協同の発見	99	00.8
タイ、インドネシアの最新労働事情	蜂谷 隆	賃金と社会保障	1282	00.9月下旬号
工場労働者の第1世代をめぐる職務意識	大野昭彦	鈴木基義 東南アジア研究(京都大)	38-1	00.6
タイ・インドネシアの中小企業を取材して	蜂谷 隆	労働運動研究	371	00.9
アジアの児童労働	谷 勝英	労働法律旬報	1484	00.7.上旬
* 東南アジアの労働組織事情		全日本金属産業労働組合協議会	B5.118	91.
73. ヨーロッパ				
就労扶助(Hilfe zur arbeit)に関する政府回答(上)	布川日佐史	静岡大学経済研究	5-1	00.6
フランス週35時間労働時間法の労使関係に及ぼす影響	マルク・モーリス	電機総研レポート	259	00.7
イギリスにおける賃金審議会の廃止と全国最低賃金制度の導入	田口典男	大原社会問題研究所雑誌	502	00.9
フランス・週三五時間労働導入について	田中光雄	月刊国際労働運動	345	00.7
ドイツにおけるリストラ・解雇規制				
ハイナー・ヘーゼラー	ウルリッヒ・ミュッケンベルガー	所報(愛知労働問題研究所)	83	00.7月夏季特別号
ドイツ賃金交渉の転機(報告)	岩瀬 孝	世界の労働	50-7	00.7
フランスにおける三五時間法改革と新労働時間法制	奥田香子	世界の労働	50-7	00.7
フランスの解雇規制法の概要	島田陽一	世界の労働	50-7	00.7
ヨーロッパには「労働者への連帯感」がある	ゲブハルト・ヒールシャー	前衛	728	00.9
「オランダ病」から「オランダモデル」へ	オランダの雇用政策は本当に成功しているのか?(報告)			
	下平好博	連合総研レポートD I O	143	00.10
イギリスの新パートタイム労働法制導入の背景	柴山恵美子	労働運動研究	371	00.9
75. 北アメリカ				
アメリカ雇用機会均等委員会におけるあっせん・調停業務の処理等について	Essor		74	99.4
米労働運動の潮流	荻野 登	月刊国際労働運動	346	00.8/9
79. I L O, 国際機関				
アジア金融危機とI L O	岡 伸一	世界の労働	50-7	00.7
第88回I L O総会を振り返って(座談会)				
	岩田喜美枝 鈴木俊男 伊藤祐禎	司会：早坂信弘 世界の労働	50-8	00.8
特集 第88回I L O総会		連合国際レポート	4	00.8
労働組合とコーポレート・ガバナンス(鈴木不二一)改正O E C D多国籍企業ガイドラインが採択(吉田昌哉)				
I L O総会「母性保護委員会(報告)高島順子)I L O総会条約勧告適用委員会に出席して(吉田昌哉)他				
特集 I L O(国際労働機関)の21世紀戦略		労働と医学	66	00.6
I L Oの21世紀の中心目標と労働の基本原則(村上剛志)いまこそ、国際労働基準の活用を(牛久保秀樹)				
* I L Oコア条約と貿易	日本労働研究機構編	吾郷真一述 教育文化協会	B5.45	01.4

歴 史

81. 労働史（日本）
-
- | | | | | |
|--|----------------|-----------------|--------|-----------|
| 電子工業における労働力編成（1） | 石井まこと | 大分大学経済論集 | 52-2 | 00.7 |
| 電子工業における労働力編成（2） | 石井まこと | 大分大学経済論集 | 52-3 | 00.9 |
| 鬼平の人足寄場 | 久田俊夫 | 経済経営論集（名古屋経済大） | 7-1 | 99.6 |
| わが国における「テクニシャン」概念の起源に関する考察 | 谷口雄治 | 産業教育学研究 | 28-1 | 98.1 |
| 特集 労働の歴史研究 | | 日本労働研究雑誌 | 482 | 00.9 |
| 国営化までの職業紹介制度（神林 龍）工場法と国際労働条約と労働基準法（渡辺 章） | | | | |
| 中卒就職の制度化 | 荻谷剛彦 石田 浩 菅山信次 | 歴史学研究 | 742 | 00.10月増刊号 |
| * 炭鉱労働者の閉山離職とキャリアの再形成 | | | | |
| | 正岡寛司他編 | 早稲田大学人間総合研究センター | A4.351 | 99.9 |
| * 炭鉱労働者の閉山離職とキャリアの再形成 3 | | | | |
| | 正岡寛司他編 | 早稲田大学人間総合研究センター | A4.391 | 00.9 |
| * 女の社会史 17～20世紀 | 大口勇次郎編 | 山川出版社 | A5.334 | 01.3 |
| * 女性史と出会う | 総合女性史研究会編 | 吉川弘文館 | B6.191 | 01.4 |
| * こころの風景 | 吉枝喜久保 | 北日本新聞社 | B6.260 | 99.3 |
82. 労働史（外国・国際）
-
- | | | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|--------------|--------|-----------|
| 1841年における東スコットランドの炭鉱労働力（1） | 加藤一弘 | 鹿児島経済論集 | 41-1 | 00.6 |
| 20世紀初頭におけるドイツ労働者の生活水準と社会環境（上） | | | | |
| | 新見尚子 | 季刊北海学園大学経済論集 | 48-1 | 00.6 |
| 時間・労働規律・工業資本主義（ ） | 高田紘二 | 奈良県立商科大学研究季報 | 8-4 | 98.3 |
| 時間・労働規律・工業資本主義（ ） | 高田紘二 | 奈良県立商科大学研究季報 | 9-4 | 99.3 |
| 時間・労働規律・工業資本主義（ ） | 高田紘二 | 奈良県立商科大学研究季報 | 10-4 | 00.3 |
| 外国人労働者の導入と西ドイツ労働市場の制度化 | 矢野 久 | 歴史学研究 | 742 | 00.10月増刊号 |
| * 民衆支配の讃歌 上 | | | | |
| | ショーン・ウィレンツ著 安武秀岳監訳 鶴月裕典, 森脇由美子訳 | 木鐸社 | A5.266 | 01.3 |
| * 民衆支配の讃歌 下 | | | | |
| | ショーン・ウィレンツ著 安武秀岳監訳 鶴月裕典, 森脇由美子訳 | 木鐸社 | A5.235 | 01.3 |
84. 労働・社会政策史（外国・国際）
-
- | | | | | |
|---|------|------------|-----|------|
| 南アフリカ金鉱業における人種差別的出稼ぎ労働システムの確立 - 1886～1920年（2） | 佐伯 尤 | 経済系（関東学院大） | 204 | 00.7 |
|---|------|------------|-----|------|
85. 労働運動史（日本）
-
- | | | | | |
|-------------------------|---------|-----------------|--------|-----------|
| 労働運動に燃えた半生（6～9） | 柴崎秀明 | 季刊ひとびと | 7-10 | 99.秋-00.夏 |
| 戦前からの金属労働組合運動をふりかえる | 金属労働研究所 | 金属労働研究 | 46 | 00.7 |
| 戦後労働運動と経済学（上） | 戸木田嘉久 | 経済 | 61 | 00.10 |
| 日本におけるホワイトカラー組合運動 | 松尾孝一 | 経済論叢（京都大） | 164-4 | 99.10 |
| 戦後労働運動を闘いぬいて | 平坂春雄 | 社会評論 | 123 | 00.10 |
| 1970年代の山形県における全通労働運動（1） | 岩本由輝 | 東北学院大学論集 経済学 | 144 | 00.9 |
| 90年代の歴史見直しの「運動」をめぐって | 山田敬男 | 労働総研ニュース | 126 | 00.9 |
| * 闘争団は負けない | | 『闘争団は負けない』刊行委員会 | B5.72 | 01. |
| * 連合長野10年の足跡 | | 連合長野 | A4.62 | 01.2 |
| * 沖縄階級闘争 | 竹田 誠 | 現代文化研究社 | A5.298 | 01.3 |
| * わたしたちのIMF - JCとIMF | | 全日本金属産業労働組合協議会 | B5.59 | 90.11 |
| * 佐々木孝男追悼録 | | 佐々木孝男追悼録刊行委員会 | A5.503 | 92.1 |
86. 労働運動史（外国・国際）
-
- | | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|----------------|-------|-------|
| アメリカ労働運動の覇者 | 久田俊夫 | 経済経営論集（名古屋経済大） | 7-2 | 99.12 |
| イギリス公務部門の人事管理変化とホワイトカラー組合の機能（1） | | | | |
| | 松尾孝一 | 経済論叢（京都大） | 164-3 | 99.9 |
| The self-employed women's association | Fumiko Ekuni Takao Fujimoto | 研究報告書（岡山大） | 35 | 00.5 |

アメリカ労働運動の新展開と我々の課題	天城 徹	統一の理論	50	00.9
87. 社会主義運動史(日本)――				
大阪社会運動の一〇〇年と未来	中岡哲郎	大阪社運協月報	80	00.8
88. 社会主義運動史(外国・国際)――				
レーニンと『資本論』(36～38)	不破哲三	経済	60-62	00.9-11
特集 第1次世界大戦とファシズム		コミュニケーション	27-9	00.10
イタリア労働者階級の“赤い2年”とその挫折	ポー	川流域を制圧したファシズムの白色テロ		
ドイツにおけるアナキズムの成立	田中ひかる	歴史研究(大阪教育大)	37	00.3
* 共産主義から資本主義へ	ミシェル・アンリ著 野村直正訳	法政大学出版局	B6.238	01.2
* コミンテルン・アムステルダム・サブビューローの基礎的研究	山内昭人	宮崎大学教育文化学部	A4.235	01.3
* ロシアのエリート	デービッド・レーン, キャメロン・ロス著 溝端佐登史他訳	窓社	B6.349	01.3
89. 諸社会運動史――				
近代初頭, 埼玉における解放への闘い	石田 貞	明日を拓く	34/35	00.3
「戦後初期文献」における生活協同組合論	相馬健次	協同組合研究	19-4	00.夏季
解放から融和へ	灘本昌久	こべる	91	00.10
全水九州連合会の活動家・藤原権太郎をめぐって	首藤卓茂	佐賀部落解放研究所紀要	17	00.3
社会福祉の変化と賀川豊彦	服部 栄	資料館ニュース	50	00.7
水平社宣言を読み解く(対談) 朝治 武 小正路淑泰 司会: 竹森健二郎		部落解放史ふくおか	98	00.6
平和, 平和運動を考える(上)	須田 博	平和運動	367	00.10
* 長崎原爆資料館	ピースウィング長崎	A5.100	00.11	
* 沖縄の反戦ばあちゃん	平松幸三著 松田カメ述	刀水書房	B6.199	01.1
* 村山知義 グラフィックの仕事	編集刊行委員会編	本の泉社	25xB5.111	01.1
* 語りの近代	町田市立自由民権資料館編	町田市教育委員会	A5.116	01.3
* 今野大力遺稿ノート 上巻	佐藤比左良編	旭川市中央図書館	A5.213	01.3
* 今野大力遺稿ノート 中巻	佐藤比左良編	旭川市中央図書館	A5.232	01.3
* 今野大力遺稿ノート 下巻	佐藤比左良編	旭川市中央図書館	A5.226	01.3
* 水俣病裁判全史 第4巻 水俣病被害者・弁護団全国連絡会議編		日本評論社	A5.731	01.3
* 資料集総力戦と文化 2	高岡裕之編	大月書店	A5.520	01.4
* 阪神地方農民運動史	木津力松	耕文社	A5.392	01.4

I L O の 出 版 物  好 評 発 売 中



第89回ILO総会報告書

Night Work of Women in Industry
「工業における女性の夜業」

本年のILO総会における第3議題である女性の夜業条約(第4号、41号、89号及び議定書)に関する一般調査報告書。女性の夜業禁止に関する分析、各国の法律、夜業と均等待遇原則、条約批准の見通し等について報告する。

2001年刊 178pp. 2,250円



Youth unemployment and employment policy: A global perspective

「若年失業と雇用政策: グローバルな視点から」

若年者の失業というタイムリーな問題について、特徴、原因と結果、対応する政策(労働市場情報のモニタリングと評価、最低賃金の効果、教育訓練制度、積極的労働市場政策)の重要性について掘り下げた考察を提供する。

N.O' Higgins 著 2001年刊 212pp. 2,750円

ご注文は下記へ

ILO 東京支局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国際連合大学本部ビル8階
TEL.03-5467-2701 FAX.03-5467-2700
郵便振替 00140-2-19221番/三井住友銀行神宮前支店 普通口座3149206